

「富山県の文化と自然を学ぶ：文化遺産とシアター ーオリンピックスを中心に」

担当教員 平野井ちえ子

コース概要

日程 2019年8月22日～25日

場所 富山県南砺市・砺波市・富山市

参加人数 11名

コースのねらい

利賀（南砺市）は、芸術創造による真の国際交流の場として、世界の演劇人から「演劇のメッカ」と称されています。本FSでは、観劇だけでなく、利賀とその近隣の文化と自然を学び、演劇と場の関わりについて考えます。

内容

地域と芸術の関わりについて、さまざまな角度から楽しみ考えることのできるコースです。特に2019年は、利賀ではシアターオリンピックスが開催され、例年にない規模での国際演劇祭となりました。また、井波でも4年に1度のいなみ国際木彫刻キャンプが開催され、南砺市における国際芸術交流をより広く学ぶことができました。こうした国際舞台の背景には、富山県の豊かな自然、自然と闘う人々の暮らしの歴史、県の文化行政の充実があります。訪問先には、ねいの里自然博物館、五箇山合掌造り集落、砺波散居村、リニューアルされて話題の富山県美術館なども含めました。自由行動日には、YKKセンターパーク・ますのすしミュージアム・立山パラグライダーツアーなどで体験学習を行ったり、黒部ダム探訪・トロッコ列車の旅・富山市内のミュージアム巡りなど、多彩な選択肢があります。

学習を終えて

2年連続参加した小島明華さんの感想

このFSは、観劇が好きな人や地域文化に関心がある人はもちろんのこと、何か新しい経験をしてみたいという人にもお薦めしたいです。

日常から切り離された奥深い自然の中に身を置くことで、さまざまな貴重な経験をすることができました。特に野外劇場では、虫の音や風に木の葉の擦れる音を背景に、演者の身体性エネルギーを感じることができ、普段は屋内の劇場での観劇が多い自分にとって、新鮮でわくわくする経験でした。演劇のみならず、富山の動植物に親しんだり、県を代表する美術館への訪問や五箇山での紙漉き体験など、様々な角度から地域にアプローチする楽しさも学びました。



ねいの里自然博物館での動物観察



自分だけのオリジナル手づくり和紙完成！



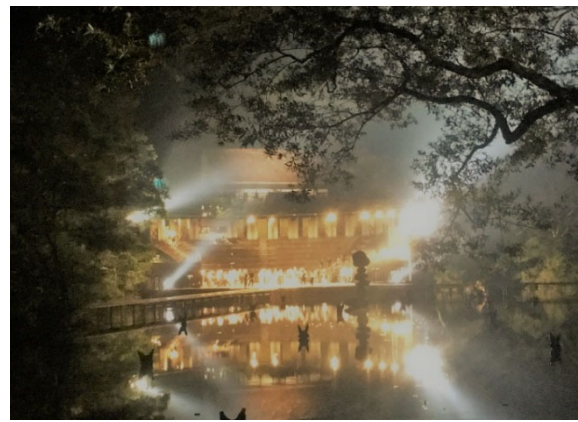
相倉合掌造り集落にて



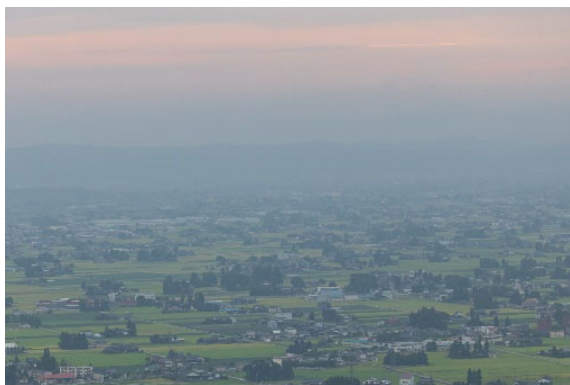
いなみ国際木彫刻キャンプでアーティストと対話



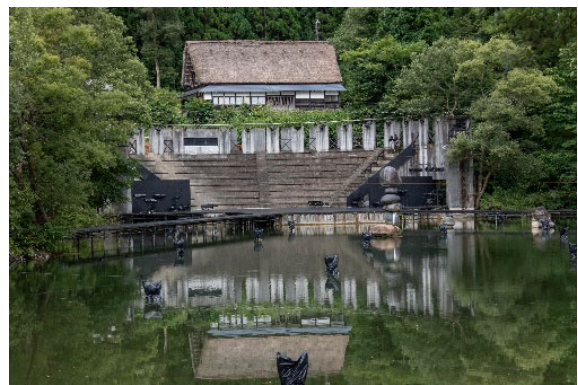
合掌造りについての現地レクチャーと紙漉き体験



終演後の利賀芸術公園野外劇場（舞台側から）



雨上がりの散居村～砺波平野



上演前の同野外劇場